

# 中央区「地域防犯」 活動事例集

～住み慣れた街で安心して暮らすために～



新潟市中央区自治協議会

# 目次

- はじめに ……P1
- 見守り活動に関する制度概要 ……P2
- 見守りのポイント ……P4
- 活動事例① ～ひとり帰宅支援は地域の力で～
- 有明台小学校区コミュニティ協議会 ……P6
- 活動事例② ～合い言葉は「自分たちの地域は自分たちで守る」～
- 入舟地区防犯協会 ……P8
- 活動事例③ ～青パトを使って安心安全な地域づくり～
- 青色回転灯を使用した自主防犯パトロール ……P10
- 活動事例④ ～町内の安心・安全は自ら行動で～
- 東龍ヶ島パトロール隊 ……P12
- 活動事例⑤ ～自転車ステッカーで地域の安心～
- 姥ヶ山六丁目町内会 ……P14
- 活動事例⑥ ～工事現場での見守り防犯～
- 株式会社 中山工務店 ……P16
- 活動事例⑦ ～未来に向けて学生ボランティア～
- 新潟公務員法律専門学校 ……P18
- 活動事例⑧ ～子どもの下校時の見守り～
- 南万代小学校子ども見守り隊 ……P20
- 活動事例⑨ ～バンドナで子どもたちの安心安全～
- 白山小学校子ども見守り隊 ……P22
- 主な見守り活動について ……P24



# はじめに

新潟市中央区自治協議会「福祉・安心安全部会」では、平成29年度より“誰もが住みやすい街づくり”を目指して、住民活動に役立つ取り組みを進めています。平成30年度の区自治協議会提案事業<sup>〔※〕</sup>は、「地域防犯活動を広げる」をテーマに検討を進めました。

誰もが安心して住み慣れた地域で暮らすために、地域では様々な活動が行われています。防犯活動においても、自治会・町内会、民生委員・児童委員、学校や企業など、多くの機関が連携しながら、取り組みを進めています。

このような地道な地域防犯活動に焦点を当てて、中央区内の活動事例を集約しました。また、関係する諸制度や見守りのポイントについても載せています。

この事例集をご覧になって、ご自身の地域活動を広げ、また、考えるヒントになれば幸いです。

〔※〕 区自治協議会提案事業

中央区自治協議会が提案する地域課題の解決に必要となる新たな事業や既存の取り組みとの連携を図る事業





# 見守り活動に関する制度概要

防犯や交通安全をはじめとする見守り活動に関しては多くの制度や団体がありますが、主な2つをご紹介します。

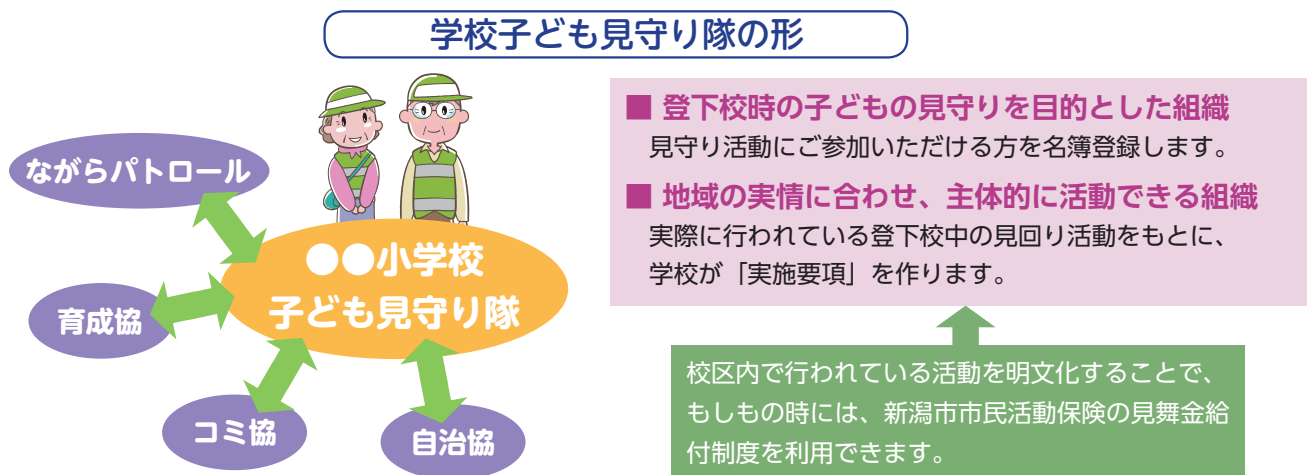
## 1 学校子ども見守り隊（以前の「セーフティ・スタッフ」）

全国的に子どもの連れ去りや声掛け、車による連れ去り未遂事件などが多発したことを受け、子どもの安全を確保する目的で平成16年に「セーフティ・スタッフ」が発足しました。それ以降、多くの方々にボランティアとして毎日子どもの安全を守る活動に従事していただけてきました。

しかし、セーフティ・スタッフは「ながら」で活動することを原則としていたため、活動中のけがなど万一の場合の補償が不十分という問題がありました。また、地域によってコミュニティ協議会など各種団体の見回り活動とも重複するようになってきました。

そこで、平成27年度より「学校子ども見守り隊」に移行しました。それに合わせて、各小学校が実施要項を定め、見守り活動の参加者を名簿登録することになりました。校区内の活動を明文化することで、もしもの時には新潟市市民活動保険の見舞金給付制度が適用されます。

**見守り活動にご参加いただける方は、お住まいの校区の小学校までお問い合わせください。**



### 新潟市における「学校子ども見守り隊」の活動データ

#### (1) 組織率

平成27年5月末現在	組織率	95校／110校	85.5%
平成31年1月末現在	組織率	106校／106校	100.0%

#### (2) 組織の運営形態

学校が主体となって組織を運営	41校
コミ協等、他の団体と連携して組織を運営	65校

#### (3) 主な活動内容

- ① 防犯、防災、交通安全などの面から児童・生徒の登下校の安全を守る。
- ② 校区内公園等の見守り活動。
- ③ 地域内で活動している団体との連携・情報交換を行う。
- ④ 定期的に情報交換を行う。

お問い合わせは  
最寄りの小学校へ



## 2 にいがた防犯ボランティアネットワーク

新潟市では、各地域で防犯活動に取り組んでいるボランティア団体等の活動支援や連携を目的として、登録団体を募集しています。

登録対象となる主な活動は次のとおりです。

- 通学路パトロール（子ども安全パトロール）
- 空き巣防止パトロール
- 環境浄化活動（清掃・ビラはがし等）
- 高齢者に対する目配り活動 など



登録団体には、新潟市より次の支援を行います。

- (1) 防犯グッズを無償貸与
  - ① パトロール用ベスト・帽子（1団体15着程度）
  - ② 誘導灯（メンバー5人に1本程度）
  - ③ 車両貼付用マグネットシート（1団体4枚程度）
- (2) 毎月のお知らせや犯罪統計等を掲載した「安心・安全ネット通信」の配信



にいがた防犯ボランティアネットワーク  
安心・安全ネット通信  
平成30年NO. 10

### 「出前型防犯講習会」申し込み受付中！

新潟市では、犯罪のない安心・安全なまちづくりを目指し、ご自身やご家族が犯罪に巻き込まれないために必要な身につけていただくため、自治会、町内会、犯罪被害者クラブ、老人クラブ、その他団体に対する「防犯講習会」を開催しています。

- 申し込み期日  
新潟を希望する1か月前までにお申し込みください。
- 講師  
新潟市役所の防犯指導員（警備〇B）が伺います。
- 時間  
60分程度（ある程度調整できます）
- 費用  
交通費や雑費などは一切必要ありません。（会費等の費用が必要な場合は、団体・グループ等の皆さんで負担をお願いします。）
- 申し込み用紙など  
新潟市ホームページに掲載されています。ご不明点は、下記お問い合わせ先までお電話ください。

**防犯講習会メニュー**

- ・新潟市内の犯罪発生状況
- ・子どもの安全対策
- ・鍵り込み詐欺を始めとする特殊詐欺の手法と対策
- ・空き巣などの住宅への侵入犯罪の手法と対策
- ・DVD上映 など

毎月犯罪発生状況や被害者の声などから発生するおそれのある事件の概要など、警察に詳しく情報を提供します。自分の声を伝えることも、地域の防犯活動に役立ちます。

【お問い合わせ先】新潟市役所 市民生活課 安心・安全推進室  
TEL 025-226-1110 FAX 025-223-8775

新潟市犯罪発生状況 (平成30年9月期)

1 新潟市犯罪発生状況

区	窃盗	窃盗（自動車）	窃盗（自転車）	窃盗（現金）	窃盗（貴重品）	窃盗（その他）	強盗	強盗（銃）	強盗（刃物）	強盗（その他）	殺人	殺人（銃）	殺人（刃物）	殺人（その他）	傷害	傷害（銃）	傷害（刃物）	傷害（その他）	性被害	性被害（強制性交等）	性被害（強制わいせつ）	性被害（その他）	その他
中央区	12	8	5	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
東区	15	10	7	4	3	2	2	1	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	2	1	1	0	0
南区	18	12	9	5	4	3	3	2	2	1	0	0	0	0	3	2	2	0	3	2	2	0	0
西区	20	14	11	6	5	4	4	3	3	2	0	0	0	0	4	3	3	0	4	3	3	0	0
北區	22	16	13	7	6	5	5	4	4	3	0	0	0	0	5	4	4	0	5	4	4	0	0
東區	25	18	15	8	7	6	6	5	5	4	0	0	0	0	6	5	5	0	6	5	5	0	0
計	112	77	60	33	27	22	22	15	15	13	0	0	0	0	22	15	15	0	22	15	15	0	0

2 各区分別犯罪発生状況

3 特殊詐欺発生状況

4 各区特殊詐欺発生状況

○ 犯行中の捜査が完了しています！  
○ 捜査中（捜査員が現場へ4～6時間）  
○ 特殊詐欺の被害者相談センターに届いています！  
○ 被害者からの被害届が完了しています！  
○ 被害届が完了（被害届が完了していない）  
○ 被害届が完了（被害届が完了していない）

※ 特殊詐欺の被害額は、被害者の任意で集計している。（被害総額：万円以下は個人）

### 「にいがた防犯ボランティアネットワーク」登録状況（平成31年1月1日現在）

#### (1) 登録団体数とメンバーの人数

8区で192団体、21,155人。左記のうち中央区では52団体、1,650人。

#### (2) 中央区における区分別登録状況

自治会・町内会	40団体
防犯組合	3団体
有志の地域グループ	3団体
コミュニティ協議会	2団体
その他（企業や学校）	4団体

登録・お問い合わせ

新潟市中央区総務課

総務・安心安全グループ

TEL：025-223-7065（直通）

# 見守りのポイント

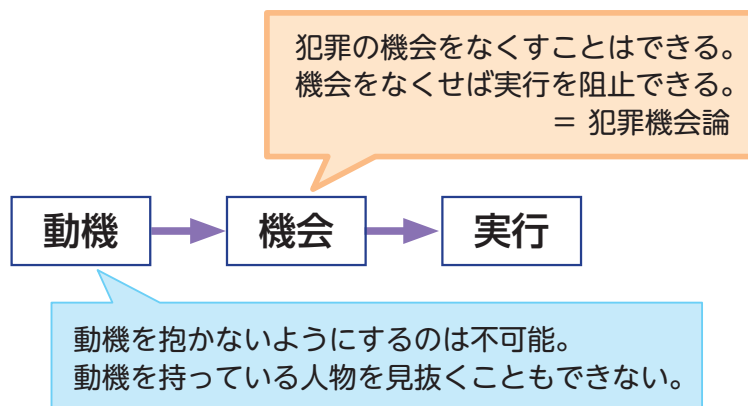
地域での見守りにはメンバー集めに苦勞している団体が多いようです。そこで、立正大学文学部社会学科の小宮信夫教授が推奨されている効果的なパトロールのポイントや、児童への防犯教育のヒントをご紹介します。

## 1 子どもが被害者となる犯罪の内訳

8割 = 言葉巧みに騙し、本人の意思でついて来させる（犯人は決して怪しい身なりではない！）  
2割 = いきなり無理矢理連れ去る

日本ではこの2割に対する警戒ばかりが行われている（防犯ブザー配布、怪しい不審者に付いて行かない教育、怪しい人を不審者として探すパトロールなど）。  
これでは8割を占める手口に対応できず、被害はなくなる。

## 2 犯罪発生メカニズム



## 3 犯罪機会をなくすために

### (1) ホットスポットの特定

- 例) 歩道橋の上（犯人と子どもが接触していても、周囲から見えない）  
街路樹や植え込みが続いている道路  
道路沿いの植え込みが途切れた箇所（そこに車を止めて誘い込み、連れ去る）  
住宅の窓から遠い、もしくは建物の壁に囲まれた公園  
公園のトイレの物陰  
公園の遊具とベンチ（不審者がベンチに座って子どもを物色していても違和感がない）  
通学路に面した駐車場（不審車両が駐車して犯人が子どもを物色していても目立たない）  
駐車車両が多い道路沿い（不審車両が駐車して犯人が子どもを物色していても目立たない）  
通学路に面している空き家  
壁で遮られている外階段の踊り場  
開けた空き地、もしくは田畑の中の道路（家から離れていると様子がよく見えない）

ホットスポットとは？  
||  
入りやすく見えにくい場所

## (2) ホットスポットに注力したパトロール

- ① 人物に注目するのではなく、(1) ホットスポットの例にある「景色」に注目する。  
犯罪者の心理を先回りする。パトロール箇所の選択と集中。  
→ 高齢化などにより人数の確保が困難でも、効率的なパトロールが可能。
- ② それぞれのホットスポットを巡視する順路を時々変えたり、引き返す。  
→ パトロールの順路を犯人に読まれないようにする。
- ③ お揃いのジャンパーなどを着用することで、パトロールの存在を示す。
- ④ ゴミが落ちていれば拾い、落書きがあれば消す。  
→ 地域の目が行き届いている場所であることを示す。
- ⑤ それぞれのスポットに5~10分留まり、駐車車両やそこに長くいる人に目を向ける。  
→ 犯行の動機を持つ人を見破れなくても、バレていると思わせる（犯人を騙す）。
- ⑥ 人が乗ったまま停車している車をロックして声を掛けたり、留まっている人に笑顔で挨拶。  
→ 犯行を断念させ、立ち去らせる。→ 犯罪の機会をなくす。



## (3) 子どもたちが「景色」で状況判断できる力を養う

- ① 全体の8割を占める手口の犯人を、外見や行為で見抜くのは無理。また、顔見知りによる犯行も跡を絶たないことから、知らない人に注意するだけでは不十分。
- ② 決め手になるのは、声を掛けられた場所の「景色」。そこが「入りやすく見えにくい場所」なら、警戒しなくてはならない。
- ③ 子どもたちがこのことを知っているだけで、8割の手口による犯行の大部分を未然に防ぐことができる。

## 4 安全マップ作り(危険箇所の洗い出し作業)で陥りやすい3つの思い込み

- (1) 死角 → 見通しが良さそうに思われる場所でも、ホットスポットになり得る。
- (2) 人通りが少ない → 人通りが多いと、逆に子どもに注意を向ける人がいなくなる（責任分散化）。  
必ず人通りが途絶える瞬間があり、そこを犯人は狙っている。  
子どもを狙う犯人が大好きな3つの場所 = 「学校近辺」「公園」「団地」
- (3) 夜になると暗い → 街灯を設置しても昼の景色に戻るだけ。
  - 昼安全な場所なら夜も安全になる。
  - しかし、昼危険な場所は街灯を設置しても夜安全になる訳ではない！

## 5 下校時間帯に合わせた外出

登校時間帯に比べ、下校時間帯の見守りがより困難です。地域の人たちが散歩、買い物、玄関先の水遣りなどのような用事でもよいので、下校時間帯に意識して外出し、周囲に気を配っていただくだけでも犯罪を抑止する力になり得ます。

## 6 みんなで挨拶し合う明るい地域へ

皆が笑顔で挨拶する地域 → 地域の人たちから先に挨拶されると、犯罪を遂行しづらい  
ゴミや落書きのない地域 → 地域の目が行き届いていることが分かったら、犯行を断念  
⇒ 安心安全なまちづくり！



ンティアの皆さんが気持ちよく活動していただけるように配慮しています。そのため、コーディネーターの役割が大変重要になります。

●活動を通じて『地域防犯』についてどのような考えを持っていますか。また、やりがいや活動していて良かったことなどエピソードを教えてください。

地域防犯の方法に正解はないと思います。地域住民に「地域の子どもは地域で育て、地域で見守る」という意識が大切であり、地道な活動を継続していくしか方法はないと思います。先般の西区の悲惨な事件は、地域の見守りの隙を狙った犯行だと思われれます。

児童を自宅へ送り届ける途中で、歩きながらいろいろな話をします。親や友だち、学校の先生に言いづらいことをボランティアにそつと話し掛けてきます。そんな話にそつと耳を傾けて聞いてやります。小さな手がボランティアの手を優しく握ってきます。そのような時、ボランティアの心は温まります。

●活動していて苦労したことやその工夫があれば教えてください。

当初、全ボランティアの集合時刻を一律午後四時としていたため、各ボランティアの活動開始時刻までの拘束時間が長かったです。



1	2	3	4	5	6
10月1日	10月2日	10月3日	10月4日	10月5日	10月6日
10月7日	10月8日	10月9日	10月10日	10月11日	10月12日
10月13日	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日	10月18日
10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日	10月24日
10月25日	10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日
10月31日					

ボランティア活動予定表



帰りの児童を待つボランティア



取材中



今日は楽しいことあった？



ひまわりクラブを出発



子どもの帰宅時間に合わせてダイヤを組むことで、拘束時間を効率化しています。

また、特に冬場の帰宅途中の雪だまりで遊ぶ児童が多く、なかなか歩いてくれない、困ることがあります。

そのほか、保護者の都合等で送りの時刻などが急に変更になることが発生しますが、ひまわりクラブ支援員と連絡を取りながら対応しています。

●他団体・関係機関とのつながりについて教えてください。

情報の共有先として、有明台ひまわりクラブ、有明台小学校、有明台交番があります。着用しているジャンパー及び帽子は新潟県共同募金会新潟市共同募金委員会の共同募金「公募型助成事業」で整えました。冬期間用のベンチコートは、新潟市放課後児童クラブ地域活動補助金により整えました。

●中央区の『地域防犯』を今後さらに拡充していくために、どうしたらよいと思いますか。

昨年の二月に中央区社会福祉協議会主催の「中央区地域福祉推進フォーラム」において、帰宅支援事業活動の報告を行いました。「地域防犯」に役立ててほしいので、今後も活動報告を重ねる中で、他のコミ協の皆さんに普及啓発を行う必要があると思います。



## ひとり帰宅支援は地域のおかげ

## 有明台小学校区コミュニティ協議会

●現在行っている活動の内容を具体的に教えてください。

ボランティア活動として、交通事故や誘拐事件から子どもたちを守るため、放課後、ひまわりクラブに通う一人帰りの児童を自宅まで送り届けています。地域の子どもは地域で守るという見守り活動で、新潟市内では唯一当コミ協が実施している事業です。

有明台ひまわりクラブを利用している児童は八二名です。その児童の保護者に対して「一人帰り帰宅支援事業」の利用希望の有無と毎週月曜日から金曜日（土日祝日はお休み）の午後四時から六時の間を三〇分間隔で希望を取りまとめます。希望の帰宅時間に沿って、コーディネーターが一二名のボランティアを割り振ります。一日平均一五名の児童を送り届けます。

この事業は、新潟市の助成事業としてボランティアに支給する手当、保険料等の経費に對して補助を受けて活動しています。

●活動をはじめたきっかけを教えてください。

放課後、学校から歩いて一キロ離れたひまわりクラブまで通う姿に学校に近い場所への移転を希望する一方、交通事故や誘拐事件などから、『地域の子どもは地域で守る』体制づくりが急務であると考えました。

平成二七年六月に「新潟市放課後児童クラブ地域活動補助金交付要綱」が制定され、ひまわりクラブ支援員から、小学校下校からひまわりクラブまでの見守りについて当コミ協に要望がありました。

その後、地域連携モデル事業計画を市へ提出し、平成二八年八月、コミ協主催で自治会・町内会代表、民生委員・児童委員、PTA三役、ふれあいスクール、ひまわりクラブ支援員、小学校長及び中央区地域課など関係機関が集まり、「帰宅支援」の仕組み・ルール策定について協議を行いました。併せてボランティアの募集を開始し、現在に至っています。

●活動に対する思いや目標について教えてください。

コミ協が一人帰り児童の帰宅支援事業を行っていることが、近隣に瞬く間に広がり、急激に児童数が増えました。

当然、利用する児童が増えるため、帰宅時支援ボランティアの募集チラシを作成して、校区内の自治町内会を通じて回覧形式で募集しましたが、結果は期待通りでありませんでした。しかし、総勢十二名を確保できたので、今後も「一人帰り帰宅支援事業」の需要は、ますます増えてくるものと思われれます。そのため、ボランティアの確保方法について検討する必要があると思います。

なお、ボランティアについては、無償ではなく、一日何回送っても三百円をお支払いしています。ボランティアと児童の組み合わせについては、負担の軽減、透明性を基本に、最終帰宅支援時には、各ボランティアの自宅と帰宅支援方向ができるだけ同じになるように組むなど、ボラ

## 構成

- 活動名（団体名）：  
有明台小学校区  
コミュニティ協議会
- 何名くらいで活動：  
主要メンバー12名
- どんな人が活動：  
エリア内からボランティア募集に応募した方
- 男女比：  
男性5人、女性7人
- 年代：  
40～80代



●活動を通じて『地域防犯』についてどのような考えを持っていますか。また、やりがいや活動して良かったことなどエピソードを教えてください。

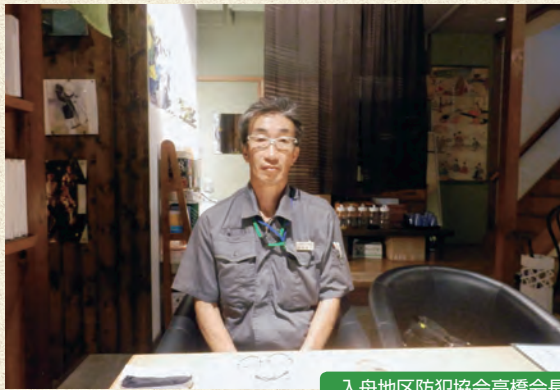
年四回のコミ協合同夜間パトロールでは、必ず会った方には声を掛けます。声を掛けることが犯罪抑止になると聞いています。会った方に「おぼんです」と声を掛けると「ご苦労さまです」と言葉を返してくれます。これが、活動の糧になり、やりがいにつながっていると思います。

●活動していて苦労したことやその工夫があれば教えてください。

現在、三二の自治会・町内会があり、役員の方は高齢者が多いです。そこをなんとか若い方に賛同していただけるよう「パトロール推進員」というものをつくりました。そして、コミ協合同夜間パトロール参加者には、一回の参加につき一ポイントを差し上げ、防災グッズを進呈しています。例えば、八ポイントで折りたたみヘルメット、椅子付リュック、



戸別訪問で防犯への注意喚起



入舟地区防犯協会高橋会長



「特殊詐欺に騙されてはイカン！」グッズ

二〇ポイントで津波防災救命胴衣などです。登録は一〇〇人規模にもなりました。

●中央区の『地域防犯』を今後さらに拡充していくために、どうしたらよいと思いますか。  
行政、警察、地域が手をつなぎ、一体となって活動しやすい環境づくりを行い、地域は自分たちで守るという強い信念で今後も活動していくことだと思っています。





# 入舟地区防犯協会

「合言葉は「自分たちの地域は自分たちで守る」

●現在行っている活動の内容を具体的に教えてください。

コミュニティ協議会の中に四つの部会があり、その一つである安全環境部会の中で防犯と交通安全を兼ねて活動を行っています。隔月で役員会を行い、毎月第二月曜日には各自治会・町内会長さんが近くの交差点で街頭指導を実施し、平成二九年度は一九日間で延べ五〇〇人強の方の協力がありました。このほか、自治会・町内会独自に「ながらパトロール」を行っているところもあります。

また、年四回のコミ協合同夜間パトロールでは六〇名規模で実施し、五月、一〇月のイベント時には警察署と合同で特殊詐欺撲滅のPRを行うほか、冬には市から除雪機械を借用し、通学路の確保のため除雪活動も行っています。



買い物客へ詐欺防止の喚起活動

## 構成

- 活動名(団体名):  
入舟地区防犯協会
- 何名くらいで活動:  
主要メンバー17名、  
夜間パトロール60名、  
登録100名
- どんな人が活動:  
主に自治会・町内会長  
及び地域の方
- 男女比:  
男性8割、女性2割
- 年代:  
平均65歳

います。

このほか、中央区で初めて青色防犯灯を設置したり、青色回転灯を備えた防犯パトロールカーを導入したりしています。(この活動については、P10・11を参照)

●活動をはじめたきっかけを教えてください。  
まずは「自分たちのまちは自分たちで守る」この一言につきます。地域の交番と協力し合い、防犯を行うということです。

●活動に対する思いや目標について教えてください。  
ださい。

緊急性のあるものはもちろん警察ということになりますが、地域の防犯に対して防犯協会が窓口になり、「しもまち」には不審者を寄せ付けられないこと、これが一番の目標です。



毎朝環境美化を兼ねて防犯パトロールを実施し、不定期ですが、夜間「青パト」での防犯パトロールも実施しています。犯罪者を寄せ付けない町として警戒しています。

そして、「青パト」で子どもたちの見守り活動を実施しているときに、「青パト」を見つけた子どもたちから声を掛けられたり、手を振ってもらえたりすることに生き甲斐を感じ、もっと頑張ろうと思いました。

●活動していて苦労したことやその工夫があれば教えてください。

決まっている通学路を通らない子どももいるため、安全が守れないからということや、学校側に申し入れ、改善を図っていただいています。

昨年五月に発生した西区の悲惨な事件後、危険と思われる箇所（ホットスポット）が増え、その点検のために時間を取られることが多く、もっと人手が欲しいと感じています。

●他団体・関係機関とのつながりについて教えてください。

地域の交番である豊照交番・附船交番、中央警察署、日和山小学校などと連絡を密にして活動しています。

青パト発進



出発式の様子



出発式に集まった方々

●中央区の『地域防犯』を今後さらに拡充していくために、どうしたらよいと思いますか。

各自治会・町内会の防犯担当者の方々やさまざまな活動をしていると思いますが、担当者の高齢化に悩まされているのが実情です。各地区のPTA役員や民生委員・児童委員の方々のご支援ご協力を得られるように、中央区役所のご指導を頂き、防犯活動の推進を願うばかりです。

「自らの安全は自ら守る」「地域の安全は地域で守る」という意識を持って、行動していくことが大切であると考えます。





「青パトを使って安心安全な地域づくり」

# 青色回転灯を使用した自主防犯パトロール

●現在行っている活動の内容を具体的に教えてください。

青色回転灯を使用した自主防犯パトロール（通称「青パト」）は、平成二八年の一二月から個人で始めたもので、見回りの範囲は中央区全域ですが、主に日和山小学校区です。パトロールでの走行距離が場合によっては、週三〇〇キロになる時もありました。また、ボランティアは無報酬が原則と考えていますので、青色ライト以外、車の維持費（ガソリン代や保険の費用など）は受け取っていませんし、今後受け取るつもりはありません。

●活動をはじめたきっかけを教えてください。

子どもたちの見守り活動は定年後まもなく行いましたが、特に、登下校の子どもたちの安全を守るために、何か良い方法はないだろうかと考えているとき、中央区総務課の担当者から「青パト」の説明を聞き、これだと思



い申請しました。

私に出来るのだろうかと不安はありましたが、子どもたちの笑顔を見るたびに、自信につながりました。

●活動に対する思いや目標について教えてください。

子どもたちを守る活動に、さまざまな地区の多くの方に参加してもらいたいと思います。

私自身の目標としては、そこまでやれるかどうか疑問ですが、スーパーボランティアとされる大分県の尾畠春夫さんです。

●活動を通じて『地域防犯』についてどのような考えを持っていますか。また、やりがいや活動していて良かったことなどエピソードを教えてください。

地域の抑止力として、私たちの自治会は、



夜間パトロールを実施しているので、悪いこととはできないぞー」という認識を持ってもらえるのであれば、パトロール隊の活動の目標がほぼ達成できたものと自負しています。

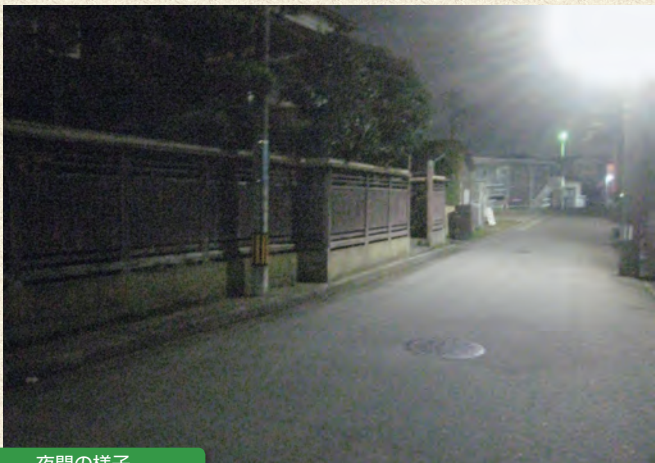
●活動を通じて『地域防犯』についてどのような考えを持っていますか。また、やりがいや活動していて良かったことなどエピソードを教えてください。

この地域もかなり早いスピードで高齢化と少子化が進んでおり、地域住民同士の人間関係が希薄になってきていると思います。パトロール隊の活動自体は単純な内容ですが、活動中に地域のこと、社会のことなどさまざまな話題が出ます。この活動を通じて町内の地域住民同士のコミュニケーションが少しずつ取れるようになってきたと感じています。

地域防犯のやり方に正解はないと思います。地道な活動を継続していくことに効果があると思います。

●活動していて苦労したことやその工夫があれば教えてください。

東龍ヶ島パトロール隊の活動は、全隊員の



夜間の様子



日中の様子

無償ボランティアで成り立っています。かつ、隊員の年齢構成に占める割合では、五〇歳代以上が八割強となっています。今後、この活動を継続していくためには、若い人たちから入隊してもらうことが不可欠と考えますが、現在の隊員が口コミ等で声掛けをしてもなかなかうまくいかないのが現状であり、喫緊の最大の課題です。

●他団体・関係機関とのつながりについて教えてください。

パトロール隊は、東龍ヶ島町内自治会や西竜ヶ島町内会の組織ではなく、全くのボランティア団体ですが、東龍ヶ島町内自治会から活動に必要な消耗品程度の負担をお願いすることがあります。

●中央区の『地域防犯』を今後さらに拡充していくために、どうしたらよいと思いますか。

地域防犯活動は、大上段に構える必要はないと思います。細々だとしても継続していくことが大切ではないかと思います。これは、中央区内の他の団体にも共通して言えることだと思います。



町内の安心・安全は自ら行動で

# 東龍ヶ島パトロール隊

●現在行っている活動の内容を具体的に教えてください。

毎週水曜日、午後八時三〇分に町内の中心である沼垂四ツ角にパトロール隊のメンバーが集合し、点呼を取ったうえで二班に分かれ、代表の出発の合図で夜間パトロールを開始しています。時間はその日の天候等にもよりますが、平均三〇分くらいかけて集合場所に帰り、参加者全員の安否を確認して終わります。常に四〜五名の団体行動で活動するよう全隊員に周知しています。

活動中の各隊員の服装等は、夜間用チョッキ（蛍光塗料付き）を着用することとし、ライトを携帯のうえパトロールを実施しています。

当町内は、住宅地図では分かりにくい細い通路が多い地域です。空き家も段々と増えてきています。パトロール時は、このような狭



危険箇所の点検

い小路にライトを当てるほか、空き家の様子を丁寧にしつかりと確認するように心掛けています。

●活動をはじめたきっかけを教えてください。  
平成四年に町内で泥棒事件が発生しました。この事件がきっかけで町内から「自分たちの町内の安心・安全は自らの行動で守る」という声が大きくなり、町内の有志に対して、ボランティア（無償）で活動しようと呼びかけたことが、活動を始めたきっかけです。

●活動に対する思いや目標について教えてください。  
週一回の活動なので、決して頻度が多い活動だとは思っていません。しかし、私どもパトロール隊の活動が、町内の外から見たときに「東龍ヶ島町内自治会、西竜ヶ島町内会は

## 構成

- 活動名（団体名）：  
東龍ヶ島パトロール隊
- 何名くらいで活動：  
10名
- どんな人が活動：  
東龍ヶ島町内自治会及び西竜ヶ島町内会のエリア内からボランティア募集に応募された方
- 男女比：  
男性9人 女性1人
- 年代：  
30代から70代



●活動していて苦労したことやその工夫があれば教えてください。

活動しているメンバーのように関心をもって取り組んでいる方もいれば、無関心な方も多いということが気になります。

●他団体・関係機関とのつながりについて教えてください。

コミ協でも「子どもは地域で守る」というのぼりを立てていますが、防犯に関するさまざまな情報の共有や連携が必要だと思います。

●中央区の『地域防犯』を今後さらに拡充していくために、どうしたらよいと思いますか。

理念、方針、計画といった具体的、実践的な指針を明確に成文化することから始めることが重要だと思います。



あなたのクルマ

ドライブレコーダー  
付いていますか？



六丁目町内会では、ドライブレコーダーの装着を推奨しています。  
あなたのため、あなたの家族のため、そして地域のために。

ドライブレコーダーがあれば  
こんなときに役立ちます。

#### 交通事故のとき

完全に相手の不注意による事故であっても、それが立証できないことで長期にわたり決着がつかず不愉快な思いをし続けることもあります。最近では、裁判にまで持ち込まれるケースが大変増加しているそうです。そんな時ドライブレコーダーの映像があれば動かぬ証拠となります。

#### あおり運転被害に遭ったとき

最近問題のあおり運転。悪質な場合、暴力被害や死に至ることもあります。そんな時、ドライブレコーダーの映像(および音声)があれば即逮捕につながります。

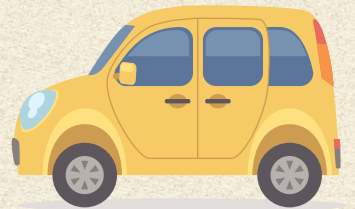
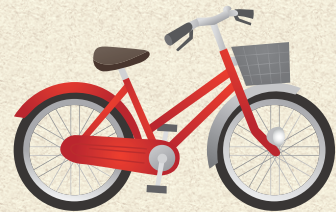
#### 安全運転に心がけるようになります

ドライブレコーダーには、当然自分自身の運転も記録されます。乱暴な運転をしたり、ルール違反をした場合はそのまま記録が残ります。よって、そうならないように自然と安全運転に心がけるようになります。

#### 防犯カメラ・監視カメラの代役を果たします

最近では、犯罪の捜査・解決には防犯カメラ等の映像が必要不可欠なものとなっています。しかし、この純ヶ山地域では防犯カメラを見かけることはほとんどありません。今年5月に小針で起きたあの痛ましい事件の時も、映像証拠がないため警察は必至でドライブレコーダーの映像提供をお願いしていました。町内会や自治会で高価な防犯カメラを設置することは不可能ですが、ドライブレコーダーの装着を呼び掛けることはできます。  
地域の防犯のためにも是非ドライブレコーダーの装着をお願いします。

純ヶ山自治会 六丁目町内会 総務部





## 自転車ステッカーで地域の安心

# 姥ヶ山六丁目町内会

●現在行っている活動の内容を具体的に教えてください。

高齢者の見守りボランティアの一環として、自転車の荷物カゴに貼る「見守りパトロール実施中」というステッカーを五〇枚製作し、配布しました。自転車で買い物や地域巡回中に人目につき、防犯の抑止につながると思います。そのほか、車での走行時に地域の防犯と事故防止を目的に、車用のマグネット式ステッカーの配布もしました。さらに、防犯カメラの代役を目的に、ドライブレコーダーの取り付け推奨運動を行っています。また、通学時間帯に自宅前での見守りもしています。

●活動をはじめたきっかけを教えてください。

昨年五月の西区小針での悲惨な事件を受け、どこにでも起こる可能性があると感じ始めま



### 構成

- 活動名(団体名): 姥ヶ山六丁目町内会
- 何名くらいで活動: 27名
- どんな人が活動: 町内会の役員
- 男女比: 男性18名、女性9名
- 年代: 男性は60歳代、女性は児童保護者が参加

した。自分が住んでいる所だから「住んでよかった」と思える町内にしたい気持ちで活動をしています。

安心で安全で、環境が良く、清潔な地域というのは人任せでは実現しません。人と人のつながりがあって、協力し合わなければ実現しない「知り合い、学び合い、助け合う」町内会づくりが必要と考えます。

●活動に対する思いや目標について教えてください。

自治会、町内会で有効な活動を考えて実践することです。朝夕の犬の散歩時に腕章を付けてもらったり、自転車で買い物及び地域で走行する場合はステッカーを付けてもらったり、地域内での見守り活動を認識してもらうことです。



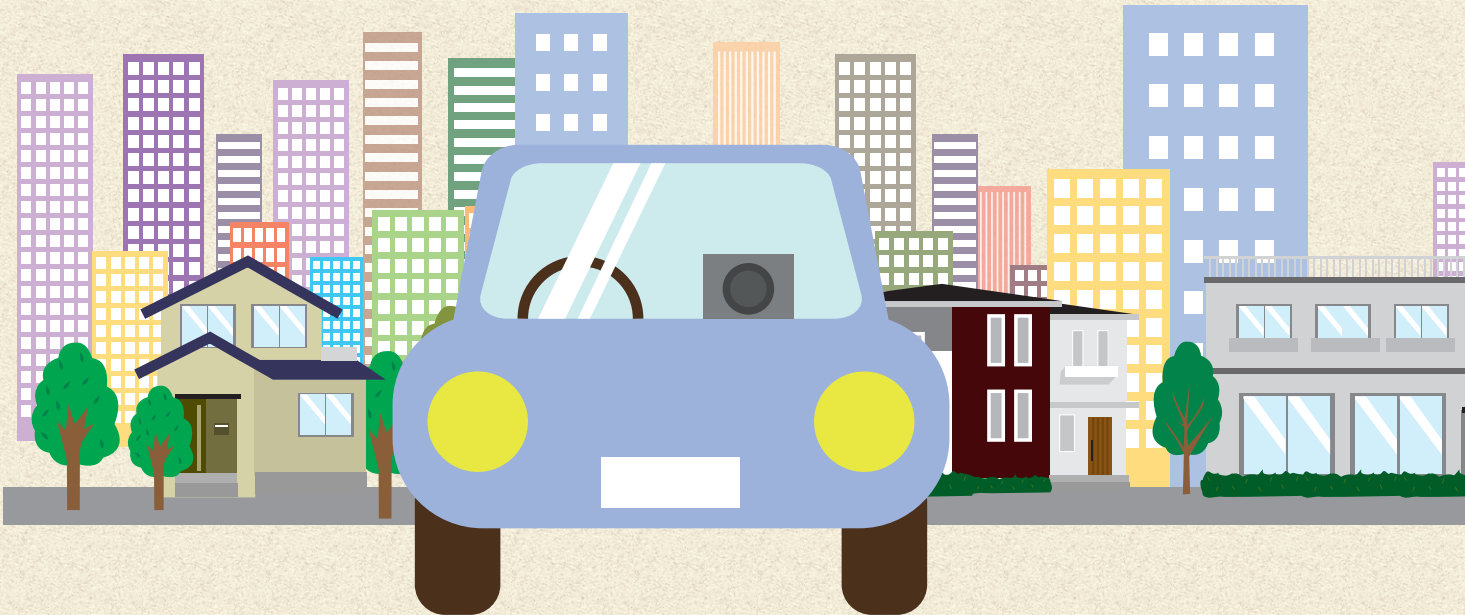
●活動していて苦労したことやその工夫があれば教えてください。

本来のボランティアネットワークの趣旨に合っているのだろうかと感じることがあります。ただ、建設、ガス工事、誘導員派遣業者等と同じように公共の道路工事の現場では、誰かが作業しているので抑止力になると思います。不審者がいないか、目配り気配りが効いていると思います。

●他団体・関係機関とのつながりについて教えてください。

関連団体としては、主に市水道局からの工事をする業者が多いです。業界関連業者は同志です。

市水道局からの事故事例報告に気を付けて、交通安全や事件発生時のドライブレコーダーの情報提供を心掛けています。アクションでなくリアクションで知った後に、何かあったら動こうという気持ちを常に持っています。



●中央区の『地域防犯』を今後さらに拡充していくために、どうしたらよいと思いますか。

積極的な活動はできませんが、目配り気配りで目立たなく日常、何事もなかったかのようには仕事をしています。もちろん、何かあれば警察等に情報提供しています。

工事のお知らせを世帯ごとに配付する場合には、一人暮らしの高齢者にも気を配ります。お年寄りに声掛けしても応答がなかったり、電気がつけっぱなしだったりする場合は、警察や関係機関に連絡を取り対処しています。





## 工事現場での見守り防犯

# 株式会社 中山工務店

●現在行っている活動の内容を具体的に教えてください。

新潟市水道局より水道管敷設工事を請け負っている会社なので、地域防犯組織と認識が異なり、市全域の工事現場で通行人の誘導に併せて周辺の見守りを行っています。また、現場周辺で何か事故、事件があった時には協力しています。また、企業防衛として社員の交通事故防止とともに、車での走行が地域の防犯に役立つと思い、社有車すべてにドライブレコーダーを取り付けています。

●活動をはじめたきっかけを教えてください。

市水道局発注の公共工事が主な事業なので、会社の社会貢献活動の一環として、各工事現場周辺でタイムリーな見守り防犯に協力して



います。

●活動に対する思いや目標について教えてください。

社会貢献の一環としての活動なので、社会常識として地域の人たちに喜んでもらうことを考えています。

●活動を通じて『地域防犯』についてどのような考えを持っていますか。また、やりがいや活動していて良かったことなどエピソードを教えてください。

業務を通じた地域の見守りが社会貢献活動に含まれると考えており、そのことが、私たちのやりがいにつながっています。また、会社としては、人間として社員が成長できるように社会人教育の一つとしています。

### 構成

- 活動名(団体名):  
(株)中山工務店
- 何名くらいで活動:  
69名
- どんな人が活動:  
工事現場により異なるが  
4~5名
- 男女比:  
工事の性格上男性が主流
- 年代:  
20~50歳代



域の方に感謝の言葉を掛けていただき、更なる活動への意欲や将来につながるモチベーションとなつていきます。

●活動してきて苦労したことやその工夫があれば教えてください。

当校に入学してくる学生には、もともとボランティア意識のある学生が多いです。当校には学生が自発的に発案し実行するアクティブラーニングというカリキュラムがあり、海岸や駅周辺などでの清掃活動や介護施設へのボランティア活動など学生が自らの発案で行っています。

しかしながら、遠方より通ってくる学生は見守り活動やこういった活動に参加しにくいという状況があります。

●他団体・関係機関とのつながりについて教えてください。

新潟市の市民生活課や中央区役所の総務課、警察や消防署、南万代地区コミュニティ協議会と連携しています。



パトロールに学生ボランティアが参加している様子



専門学校1階エントランス



取材中

●中央区の『地域防犯』を今後さらに拡充していくために、どうしたらよいと思いますか。  
地域と学校とが連携をしながら防犯活動を行っていく中で、地域住民と学生間の人とのつながりが強まり、ともに地域の安全・安心に向けて取り組むパートナーになっていければと思います。





## 未来に向けて学生ボランティア

# 新潟公務員法律専門学校

●現在行っている活動の内容を具体的に教えてください。

市から、月一回駅前繁華街を警察・防犯連合会・地元の方とパトロールする「新潟駅前地区環境健全化パトロール」のスケジュールを聞き、同行して活動しています。

そのほか、南万代地区コミュニティ協議会主催の避難訓練や南万代小学校の行事・校外活動時の見守り活動、南万代小学校ふれあいスクールの補助なども行っています。

●活動をはじめたきっかけを教えてください。

学校の特性と市からの誘いもあり、「にいがた防犯ボランティアネットワーク」に平成一九年に登録しました。同校に在籍している学生は警察・消防・そのほかの公安系公務員を目指す学生も多く、職業と直結する活動



パトロールに集まった学生ボランティア



### 構成

- 活動名(団体名):  
新潟公務員法律専門学校
- 何名くらいで活動:  
約30名
- どんな人が活動:  
同校の学生
- 男女比:  
男性9割、女性1割
- 年代:  
19歳

することで学生の「地域貢献」の機会を作り、地域に根差した学校として地域に貢献していきたいとの思いから始めました。

●活動に対する思いや目標について教えてください。

学生には将来、地域貢献や治安維持に自主的に関わってもらいたいと思います。

●活動を通じて『地域防犯』についてどのような考えを持っていますか。また、やりがいや活動していて良かったことなどエピソードを教えてください。

防犯・防災意識の低い人や無い人でも、活動をしている人を見て少しでも感化され、意識するようになったり、行動するようになったりしてもらえればと思います。学生も、地

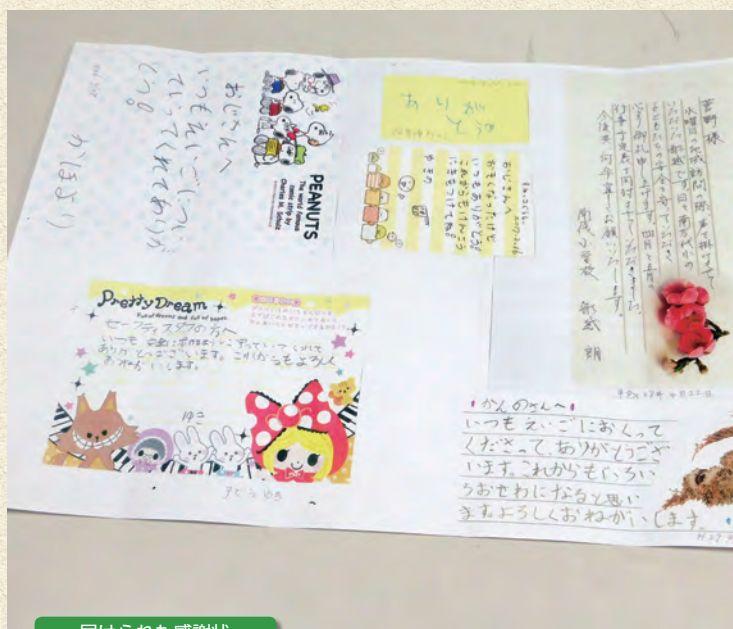


元気よく返事をする子もいますし、小さな声で返事をする子もいます。そんな中で「おじさん、元気で長生きしてください」、「いつもありがとうございます」と言ってくれる子もいます。私も笑顔で返します。子どもたちから挨拶を通して感謝の気持ちをもらうと勇気が湧き、嬉しくなり、やる気にもなります。自分も一緒に成長させてもらっているなと思います。

●活動していて苦労したことやその工夫があれば教えてください。

昨年の冬の大雪は特にですが、雪が降ると歩道の幅が狭くなり、滑るうえ雪除けした後すぐに除雪車が来て雪の塊ができてしまう。歩行者が通りやすいよう、雪除けをやり直すことは苦労します。また、夏の猛暑が続くと自分の体力との戦いになりますし、熱中症対策に苦労します。

工夫している点は、挨拶がきっかけとされているので、子どもだけでなく、一般の人にも声を掛けています。また、子どもの手本にならない大人もいますので、信号を守らない



届けられた感謝状



取材中

自転車の人には「子どもが通るので注意をして通ってください」と協力を求める声掛けもしています。

●他団体・関係機関とのつながりについて教えてください。

南万代小学校はもちろん南万代地区コミュニティ協議会や交通安全推進協議会とも協力しています。

●中央区の『地域防犯』を今後さらに拡充していくために、どうしたらよいと思いますか。

危険個所検討会議が昨年行われ、地域・学校・警察・区役所の方が集まり、実際に現地に行きました。危険なブロック塀、危険な小路などを実際に見て確認することができ、あらためて多くの方々の協力が必要であることを感じました。（南万代小学校・中村教頭先生）

このような活動をすることは抑止効果があるのではないかと思います。（菅野さん）



## 子どもの下校時の見守り

# 南万代小学校子ども見守り隊

●現在行っている活動の内容を具体的に教えてください。

小学校の登校時は自宅近くの交差点で、下校時には午後三時頃から南万代小学校前の交差点で子どもたちが交通事故・その他の事故に遭わないように見守り活動をしています。万代シティや学校から遠い駅南のマンション方面に子どもが一人で帰る際、特に一年生の子どもから「ついて来てくれませんか？」との要望がある時、または、危ないなと思う時は送っていくこともあります。

●活動をはじめたきっかけを教えてください。

退職後、病気になり身体に少し障がいが残りました。その時、市の街頭指導の市報を見て、リハビリを兼ねて何かお手伝いできたらと平成二四年からやすらぎ堤のゴミ拾いを始めました。七年前から学校の先生方の姿を見



横断歩道は手を挙げて



### 構成

- 活動名(団体名):  
南万代小学校  
子ども見守り隊
- 何名くらいで活動:  
計27名
- どんな人が活動:  
民生委員・児童委員の方や  
時間の許されるボランティアの方  
(菅野輝昭さんは下校時  
一人で見守り活動を実施)
- 男女比:  
男性10名、女性17名
- 年代:  
60代の方が多い

て、子どもたちを交通事故やその他の事件に遭わせたくないと思い、登下校時の街頭指導を始めました。

●活動に対する思いや目標について教えてください。

子どもたちの安心・安全・安穩を目指し、未来の宝である子どもたちが事故や事件に巻き込まれないよう、また、地域の皆さんも安心・安全に住める町づくりのため、これからは見守り活動を続けていきたいです。

●活動を通じて『地域防犯』についてどのような考えを持っていますか。また、やりがいや活動していて良かったことなどエピソードを教えてください。

朝は「おはようございます」、下校時は「おかえり」「さようなら」と声を掛けています。



もいいかもしれませんね。

(源川隊長)

スポーツ振興会という団体では、毎週水曜日の朝六時半から古町五番町でラジオ体操をしています。そこには地域のお年寄りなど三〇名程度が参加して、体操が終わった後、お茶を飲みながら団らんをして、地域のいい社交の場になっています。そこに子どもたちも一緒に参加してもらえると、世代間の交流が盛んになっていいと思います。やっぱり朝はいろいろな忙しいかな。

(高橋校長)

子どもたちとの直接の交流ではありませんが、教員の事務の一部を地域の方から手伝っていただいています。その名も「ねこの手ボランティア（通称・ねこボラ）」。修学旅行のパンフレットを組んだり、文化祭作品展示の台紙を貼ってくださったり、週一回二時間、二二名のボランティアから登録していただいています。お孫さんがいる世代のボランティアの方も、ご自身が地域の役に立っていることに喜びを感じていらっしやるという声も。「ねこボラ」さんにも、この見守り活動を広げて行ければと思います。



バンダナを付けてパトロール中



●活動していて苦労したことやその工夫があれば教えてください。

(高橋校長)

先日、全校集会で児童にこのバンダナの主旨を説明したところですが、「このバンダナをつけている人を街で見たことがありますか?」と尋ねたところ、まだほとんど手が上がりませんでした。子どもたちにも地域の方にも浸透するのはこれからですね。井上PTA会長にも協力していただき、保護者にもお知らせと併せて、バンダナを各世帯一枚ずつお配りしましたが、同居されているおじいちゃん・おばあちゃんなど必要でしたら、いつでも学校に言ってくださいと伝えてあります。

(井上PTA会長)

私も朝犬の散歩をしながら、このバンダナをつけて歩いていますが、「いい取組みですね」と声を掛けてくれる方もいます。でも、その方は実際まだ着用していません。照れもあるかもしれませんが、どう浸透させていくかは、これからの課題ですね。教職員にも配られています。先生方に率先して着用していただくのもいいかもしれませんね。



「バンダナで子どもたちの安心安全」

## 白山小学校子ども見守り隊



### 構成

- 活動名(団体名): 白山小学校子ども見守り隊
- 何名くらいで活動: 約25名
- どんな人が活動: 民生委員・児童委員の方や地域の方

●現在行っている活動の内容を具体的に教えてください。

(井上PTA会長)

白山小学校児童の登下校時などに合わせて見守り活動を行っています。今年度、区自治協議会の提案型協働事業に申請をし、見守り隊の目印となるようオリジナルバンダナを作成し、隊員に配付して着用してもらっています。また、見守り隊員だけでなく、保護者や自治会関係者にも着用してもらい、子どもたちの安心・安全を地域の幅広い目で広げていければと思います。

●活動をはじめたきっかけを教えてください。

(源川隊長)

もともとは、コミュニティ協議会の前身である自治振興会の活動でした。専用ジャンパーを着て「ながらパトロール」として始めました。

民生委員・児童委員の方や自治振興会婦人部の方など、各自治会から一人ずつ見守り隊として選任しました。発足当初は二〇名くらい。「体が元気なうちはやりましょう」と現在に至ります。

ところが、数年前にジャンパーのデザインを一新する際、隊員から「あまり目立ったものは着たくない」という声が上がりました。地域のためには役に立ちたい気持ちはあるが、それを大げさに「やってますよ」とアピールをしたくないというか。自主的で純真な気持ちで参加してもらっていますからね。

それでこのバンダナを着用するということになりました。このバンダナを腕に巻くとか、バッグにつけるとか、子どもたちに見えればいいわけです。

(高橋校長)

子どもたちが地域の人たちに挨拶をしたく

ても判別ができません。温かく見守ってくれている地域の人たちが分かるようにと。それでこのバンダナに白山小学校の校章がプリントされています。

●活動に対する思いや目標について教えてください。

(井上PTA会長)

このバンダナを配るのはあくまでもきっかけづくりになればという思いからです。白山の子どもたちを地域で見守らなきゃという気持ちが少しでも芽生えるといいですね。

(高橋校長)

子どもたちは、当然学校の先生の顔を知っているのですが、あえてバンダナを着用しなくても分かりますが、年二回見守り隊と一緒にやっている集団下校の際、これを着用するの



# 主な見守り活動について

新潟市では、防犯について多くの市民の方からご協力いただいています。

以下の活動は一例になりますが、活動にご興味のある方は問い合わせ先までお問い合わせください。

## 学校子ども見守り隊

### 【活動概要】

防犯、防災、交通安全などの面から児童・生徒の登下校の安全を守る活動、校区内公園等の見守り活動、地域内で活動している団体との連携・情報交換などを行っている。

### 【問い合わせ先】

(制度について) 新潟市教育委員会事務局 学校支援課 (☎025-226-3299)

(活動について) 最寄りの小学校まで

## にいがた防犯ボランティアネットワーク

### 【活動概要】

通学路パトロール(子ども安全パトロール)、空き巣防止パトロール、環境浄化活動(清掃・ビラはがしなど)、防犯ボランティアの指導・育成などの活動を行う団体等のネットワーク形成、地域同士の情報共有、連携、活動支援を目的に、登録団体を募集している。

### 【問い合わせ先】

新潟市中央区総務課 (☎025-223-7064)

## 校区交通安全推進協議会

### 【活動概要】

児童登校時の街頭指導、交差点への横断旗設置、危険箇所点検及び対策(ストップマーク設置)などを行っている。

### 【問い合わせ先】

新潟市中央区総務課 (☎025-223-7064)

## 地区防犯協会(防犯組合)

### 【活動概要】

防犯思想の普及、防犯対策の調査研究、各種防犯組合、防犯団体等に対する協力援助、犯罪の予防と検挙に対する協力などを行っている。

### 【問い合わせ先】

新潟市中央区総務課 (☎025-223-7064)

## 青色回転灯を使用した自主防犯パトロール

### 【活動概要】

青色防犯パトロール、防犯に関する広報啓発活動、地域における環境浄化活動(清掃・ビラはがしなど)、などを行っている。

### 【問い合わせ先】

新潟市中央区総務課 (☎025-223-7064)



～住み慣れた街で 安心して暮らすために～  
中央区「地域防犯」活動事例集

発行日 平成31年3月  
発行 新潟市中央区自治協議会  
担当 福祉・安心安全部会  
田巻正行、高橋廣光、野澤正信 川崎ツキ子、田辺龍治、  
菊地弘隆（副座長）、細川三千夫、本間伸子、渡邊隆幸（座長）（順不同）

事務局 新潟市中央区地域課  
新潟市中央区西堀通6番町866番地 NEXT21 5階  
TEL：025-223-7023 FAX：025-223-3660  
E-mail：chiiki.c@city.niigata.lg.jp

発行協力 各地域での防犯活動に取り組む団体・個人の皆様



